

平成 28 年度第 2 回

岡崎市子ども・子育て会議

説明資料



**子育て応援
すくすくメール
好評配信中！**

平成 28 年 9 月 30 日 (金)

午後 2 時 開催

岡崎市子ども・子育て会議について

1 岡崎市子ども・子育て会議とは

岡崎市における子ども・子育て支援サービスの充実を図るため、子育て支援施策の策定、実施、評価、見直しといったプロセスに関与し、行政と一体となって子育て環境の整備を進めることを目指す附属機関です。

子どもの保護者・子育てサービス事業者・有識者など、市長が委嘱する委員で構成されています。

【根拠法令】

子ども・子育て支援法

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（認定こども園法）

岡崎市子ども・子育て会議条例

岡崎市子ども・子育て会議運営規程

※おかざきっ子 育ちプラン P102～105 掲載

2 会議の役割

子ども・子育て支援法や認定こども園法などに基づき、次の内容について審議し、意見をいただきます。

- ◆ 子ども・子育て支援事業計画の策定、進捗状況についての点検・評価
- ◆ 幼稚園、保育園、認定こども園の利用定員
- ◆ 地域型保育の利用定員
- ◆ 幼保連携型認定こども園の認可等
- ◆ その他、子ども・子育て支援の推進に関し必要な事項

3 組織

委員 20 人以内をもって組織します。委員の任期は 3 年です。

会長を互選により定めます。

会長は、会を総務し、会を代表します。会議では議長として会を進行します。

4 会議の公開

会議は原則、公開とします。

5 事務局

こども部こども育成課施策班

23-6820

これまでの子ども・子育て会議のまとめ

【平成 25 年度】

子ども・子育て会議を立ち上げ、新制度についての理解を深めました。
市民意識調査を実施し、子育て支援事業のニーズ量について検討しました。
また、新制度で新たに導入された幼保連携型認定こども園や地域型保育事業の認可基準についても取り上げました。

第1回（平成 25 年 9 月 17 日開催）

- ◆会長の選任
- ◆子ども・子育て会議、新制度についての説明
- ◆市民意識（ニーズ調査）について

第2回（平成 25 年 12 月 26 日開催）

- ◆教育・保育の提供区域の設定について
- ◆本市の子ども・子育て支援の状況について
- ◆市民意識（ニーズ）調査の結果（単純集計）について

第3回（平成 26 年 3 月 26 日開催）

- ◆岡崎市子ども・子育て支援事業計画の骨子について
- ◆量の見込みの算出について
- ◆幼保連携型認定こども園及び地域型保育事業の認可基準について

【平成 26 年度】

見込まれる子育て支援事業のニーズに対し、どのように対応していくのか（確保の方策）について検討しました。子育て環境の整備をどのように進めていくのか、計画にまとめ、パブリックコメントを経て、平成 27 年 3 月に「おかざきっ子 育ちプラン」を策定しました。

第1回（平成 26 年 5 月 16 日開催）

- ◆子ども・子育て支援事業計画の骨子
- ◆放課後児童健全育成事業の基準について
- ◆量の見込みについて

第2回（平成 26 年 7 月 30 日開催）

- ◆確保の方策について
- ◆事業計画の素案について

第3回（平成 26 年 10 月 29 日開催）

- ◆事業計画案について

第4回（平成 27 年 2 月 18 日開催）

- ◆事業計画素案に対するパブリックコメントについて

【平成 27 年度】

策定した事業計画について、事業の利用状況と整備計画の進捗状況を確認し、今後の進め方について確認しました。また新たに導入する利用者支援事業（母子保健型）を位置づけるなど、計画の変更を行いました。

第1回（平成 27 年 10 月 27 日開催）

- ◆主要事業の利用状況と整備計画の進捗状況について
- ◆事業計画の変更について

【平成 28 年度】

市立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行について事業概要を審議しました。また、平成 28 年度から開始した利用者支援事業やその他新規事業について確認しました。

第1回（平成 28 年 7 月 12 日開催）

- ◆市立幼稚園の幼保連携型認定こども園化について
- ◆利用者支援事業について
- ◆計画策定後の新規事業について
- ◆岡崎市いじめ問題対策連絡協議会等条例について

おかざきっ子 育ちプラン(岡崎市子ども・子育て支援事業計画)について

1 概要

(1) 計画の位置づけ

本計画は子ども・子育て支援法第 61 条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画です。

(2) 計画策定の目的

安心して子どもを産み、子育てに夢や希望をもつことができる社会の実現をめざして、子どもと子育て家庭の目線に立ち、子どもの育ちを重視した環境整備を図ることを目的としています。

(3) 計画期間 平成 27 年度～平成 31 年度の 5 年間です。

2 基本理念

本市の目指すべき姿として、基本理念を次のとおり定めています。

【基本理念】

はばたく夢 子どもとともに育つ^{まち}都市 大好き おかざき

子どもの幸せを第一義とし、子育て家庭、地域住民、事業者、行政などが一体となり、社会全体で子育て・子育てできる環境をつくり、誰もが安心して子どもを産み、子育てに夢や希望を持つことができる取組を進めます。

3 環境整備

子ども・子育て支援法に基づき、「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業（11 事業）」について、5 年間のニーズ量を見込み、提供体制の整備を進めていきます。

(1) 教育・保育事業

<認定の区分と提供施設>

新制度では、3つの区分の認定に応じて幼稚園や保育園、認定こども園などの利用先が決まってきます。

【1号】3～5歳で保育の必要性のない子ども（幼稚園・認定こども園）

【2号】3～5歳で保育の必要性がある子ども（保育園・認定こども園）

【3号】0～2歳で保育の必要性がある子ども（保育園・認定こども園・地域型保育）

認定区分	H25	H31	
	利用実績	見込み量	確保量
1号（3～5歳）※1	5,708	5,654	6,003
2号（3～5歳）※2	4,945	5,024	5,738
3号（1・2歳）	1,751	2,073	2,267
3号（0歳）	216	229	280

※1 2号認定の教育ニーズを含む

※2 教育ニーズを除く

提供体制の考え方

既存の保育園の建替えにともなう定員増や、公立幼稚園の認定こども園への移行等により、今後の見込み量に対する提供体制を確保します。

(2) 地域子ども・子育て支援事業

事業名	H25	H31	
	利用実績	見込み量	確保量
時間外保育事業（人）	2,000	2,417	3,362
一時預かり事業	幼稚園（人日）	176,883	244,595
	保育園（人日）	5,689	18,720
地域子育て支援拠点事業（人日）	166,101	200,388	200,388
利用者支援事業	基本型（箇所）	1	1
	母子保健型（箇所）	1	1
病児・病後児保育（人日）	8	288	2,080
放課後児童健全育成事業	低学年（人）	2,098	2,502*
	高学年（人）	218	
ファミリー・サポート・センター	就学前（人日）	6,208	6,208
	小学生（人日）	1,566	2,175
子育て短期支援事業（人日）	91		90
乳児家庭全戸訪問事業（人）	3,157		3,111
養育支援訪問事業	専門職訪問（世帯）	7	16
	ヘルパー派遣（世帯）	5	7
妊婦に対する健康診査（回）	49,998		49,000

※放課後子ども教室対応分 95 人を含む

提供体制の考え方(主な整備計画)

時間外保育事業 実施園 36 → 42 園に拡大

地域子育て支援拠点事業 つどいの広場を 1 箇所新設

利用者支援事業 総合子育て支援センターで基本型、保健所で母子保健型を実施

放課後児童健全育成事業

- ・放課後児童クラブを 17 箇所整備
- ・放課後子ども教室を全 47 小学校区で実施
- ・相互の連携により放課後の児童の居場所を確保

4 計画の点検・評価

本計画については、子ども・子育て会議を評価機関として位置づけ、各年度における各事業の実施状況を点検・評価し、事業の実施状況を公表するなど、計画的な進行管理と事業の改善を行います。

点検・評価のポイント

- ・各事業の整備計画が順調に進んでいるか。
- ・計画の「量の見込み」が実際のニーズと乖離していないか。
- ・質の向上が図られているか。
- ・その後の計画の実施の見込みが立っているか。 など

おかざきっ子 育ちプラン

岡崎市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度 進捗状況報告書



岡崎市では、安心して子どもを産み、子育てに夢や希望をもつことができる社会の実現をめざして、平成27年3月に「おかざきっ子 育ちプラン（岡崎市子ども・子育て支援事業計画）」を策定し、子育て環境の整備を進めています。

本計画では、子ども・子育て支援新制度に基づく各種事業について具体的な目標事業量と確保の方策、実施時期を設定しています。これらの事業については、岡崎市子ども・子育て会議を評価機関として位置づけ、各年度において実施状況を点検・評価し、計画的な進行管理と事業の改善を行っていきます。

本書は、平成27年度の進捗状況についてとりまとめ報告するものです。

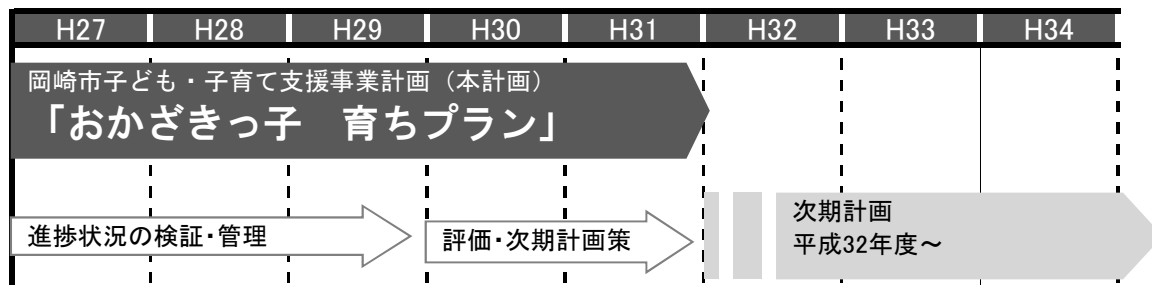
子ども・子育て支援新制度 と おかざきっ子 育ちプラン

急速な少子化の進行や、家庭・地域を取り巻く環境の変化など、子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決するために、平成24年8月に「子ども・子育て支援法」が制定されました。

この法律と、関連する法律に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援サービスの量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月から本格的にスタートしました。

新制度においては、市町村が地域の子育て家庭の状況や、子育て支援へのニーズを把握し、5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」を定めることとされています。

岡崎市では計画を「おかざきっ子 育ちプラン」として定め、本市の実情に即した子育て環境の整備に取り組んでいます。



本計画の期間は、平成27年度から平成31年度までの5か年とし、定期的に進捗状況の検証を行い、社会情勢の変化などに応じ必要な見直しを行っていきます。

計画書は岡崎市のホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1563/1618/p018326.html>

進捗状況の点検・評価を行う事業

本計画では、子ども・子育て支援法に基づき「教育・保育」「地域子ども・子育て支援事業」の利用希望（量の見込み）を設定し、その提供体制の確保の内容及び実施時期を定めています。定期的に進捗管理を行う事業と計画期間での目標事業量は次のとおりです。

1 子ども・子育て支援給付(教育・保育事業)

【認定の区分と提供施設】

新制度では、3つの区分の認定に応じて幼稚園や保育園、認定こども園などの利用先が決まってきます。

1号	2号	3号
3～5歳で 保育の必要性のない子ども (認定こども園・幼稚園)	3～5歳で 保育の必要性がある子ども (認定こども園・保育園)	0～2歳で 保育の必要性がある子ども (認定こども園・保育園・地域型保育)

	H25	H31	
	利用実績	見込み量	確保量
1号(3-5歳)※1	5,708	5,654	6,003
2号(3-5歳)※2	4,945	5,024	5,738
3号(1-2歳)	1,751	2,073	2,267
3号(0歳)	216	229	280

※1 2号認定の教育ニーズを含む

※2 教育ニーズを除く

2 地域子ども・子育て支援事業

			H25	H31	
事業名			利用実績	見込み量	確保量
(1)	時間外保育事業(人)		2,000	2,417	3,362
(2)	一時預かり事業	幼稚園(人日)	122,200	176,883	244,595
		保育園(人日)	5,528	5,689	18,720
(3)	地域子育て支援拠点事業(人日)		166,101	200,388	200,388
(4)	利用者支援事業	基本型(箇所)	-	1	1
		母子保健型(箇所)	-	1	1
(5)	病児・病後児保育(人日)		8	288	2,080
(6)	放課後児童健全育成事業	低学年(人)	1,829	2,098	2,502
		高学年(人)	218	404	※3
(7)	ファミリー・サポート・センター	就学前(人日)	3,761	6,208	6,208
		小学生(人日)	1,566	2,175	2,175
(8)	子育て短期支援事業(人日)		91		90
(9)	乳児家庭全戸訪問事業(人)		3,157		3,111
(10)	養育支援訪問事業	専門職訪問(世帯)	7		16
		ヘルパー派遣(世帯)	5		7
(11)	妊婦に対する健康診査(回)		49,998		49,000

※3 放課後子ども教室対応分95人を含む

1. 子ども・子育て支援給付 (教育・保育事業)



改築した百々保育園と
完工式の様子



子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 保育課

1 区分	1 子ども・子育て支援給付(教育・保育事業)
2 事業名	(1)保育事業
3 事業内容	保育園・認定こども園保育所機能部分での受入 2号認定:3~5歳 3号認定:0~2歳 保育園:53箇所(公立35・私立18)※保育所型認定こども園2箇所を含む
4 計画策定時の現況	平成21年度から平成25年度にかけて、3歳児以上児の利用はほぼ横ばいとなっているものの、1~2歳児の利用は増加傾向で推移している。
5 計画内容	・既存の保育園の建替えによる定員増や公立幼稚園の認定こども園への移行等により提供体制を確保する。 ・地域型保育事業については、状況の変化にともない各区域内の保育需要が著しく増加する場合などにその都度、対応を検討する。

6 計画値と実績値

2号認定(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	5,219	5,210	5,161	5,074	5,024
	確保の内容(保育園・認定こども園)		5,474	5,478	5,558	5,648	5,738
	過不足		255	268	397	574	714
実績	保育園・認定こども園 児童数	5,060	5,186				
	自己評価		A				

3号認定(1・2歳)(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	2,151	2,127	2,107	2,092	2,073
	確保の内容(保育園・認定こども園)		2,246	2,267	2,267	2,267	2,267
	過不足		95	140	160	175	194
実績	保育園・認定こども園 児童数	1,779	1,933				
	自己評価		A				

3号認定(0歳)(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	239	237	235	232	229
	確保の内容(保育園・認定こども園)		280	280	280	280	280
	過不足		41	43	45	48	51
実績	保育園・認定こども園 児童数	227	198				
	自己評価		A				

0~2歳の保育利用率(単位:%)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画値(利用定員/推計人口)	/		22.1	22.5	22.7	22.9	23.1
実績値(利用者数/年齢人口)		17.8	18.9				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

※各年度10月1日現在

7 評価と今後の方向性

- ・計画どおり提供体制が確保できている状況です。
- ・平成27年度は、大門保育園の改築や若松保育園、大西保育園の遊戯室を保育室として利用し、入所定員を120名増員。また、常勤保育士を公私立あわせて37名増員しました。
- ・百々保育園(岩津区域)、渡保育園(矢作区域)の改築が完了し、平成28年度から定員を増加します。
- ・公立幼稚園3園を幼保連携型認定こども園への移行(平成29年度から)や、既存保育園の増改築を行い、増加する保育ニーズに対応していきます。

区域別保育園利用状況(10月1日現在)

中央区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	1,573	1,597				
1-2歳	587	643				
0歳	70	71				
計	2,230	2,311				
受入定員	2,430	2,460				
施設数	15	15				
備考	・大西保育園 受入増					

岩津区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	671	669				
1-2歳	222	231				
0歳	21	24				
計	914	924				
受入定員	940	990				
施設数	6	6				
備考	・大門保育園 改築により受入増					

岡崎区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	574	603				
1-2歳	229	258				
0歳	30	20				
計	833	881				
受入定員	850	880				
施設数	5	5				
備考	・若松保育園 受入増					

矢作区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	696	725				
1-2歳	272	286				
0歳	35	34				
計	1,003	1,045				
受入定員	1,110	1,110				
施設数	7	7				
備考						

大平区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	520	527				
1-2歳	176	189				
0歳	30	19				
計	726	735				
受入定員	780	780				
施設数	5	5				
備考						

六ツ美区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	648	654				
1-2歳	187	225				
0歳	26	18				
計	861	897				
受入定員	960	960				
施設数	6	6				
備考						

東部区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	261	285				
1-2歳	79	66				
0歳	9	11				
計	349	362				
受入定員	410	410				
施設数	4	4				
備考						

額田区域

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
3-5歳	117	126				
1-2歳	27	35				
0歳	6	1				
計	150	162				
受入定員	240	250				
施設数	5	5				
備考						

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 保育課

1 区分	1 子ども・子育て支援給付(教育・保育事業)
2 事業名	(2)教育事業
3 事業内容	幼稚園・認定こども園幼稚園機能部分での受入 幼稚園:25箇所(公立3・私立22) 保育所型認定こども園:2箇所(公立2)
4 計画策定時の現況	平成21年度から平成25年度にかけて、増加傾向で推移 市外幼稚園への通園者も増加している。
5 計画内容	・現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定 ・公立幼稚園については平成29年度から幼保連携型認定こども園に移行する。

6 計画値と実績値

(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	5,874	5,863	5,808	5,711	5,654
	1号認定		4,352	4,344	4,303	4,231	4,189
	2号認定(教育ニーズ)		1,522	1,519	1,505	1,480	1,465
	確保の内容(幼稚園・認定こども園)		6,263	6,263	6,183	6,093	6,003
	過不足		389	400	375	382	349
実 績	幼稚園・認定こども園 児童数	5,780	5,762				
	公立幼稚園	487	473				
	私立幼稚園	5,237	5,247				
	認定こども園	56	42				
	自己評価		A				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞
※各年度5月1日現在

7 評価と今後の方向性

・計画どおり提供体制を確保できている状況です。
・公立幼稚園3園は、平成29年度から幼保連携型認定こども園に移行します。こども園では、平成31年度まで3年間で段階的に2号認定の児童を受け入れを増加していきます。

2. 地域子ども・子育て支援事業



つどいの広場 地域交流センター六ツ美分館(悠紀の里) 平成27年4月～

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 保育課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(1)時間外保育(延長保育)事業
3 事業内容	8時～17時30分を超えて保育を行う事業 実施園 7時～19時開設 36箇所(H26) ⇒ 39箇所(H27) 7時～22時開設 1箇所
4 計画策定時の現況	利用実績が増加傾向にある。全入所児童数の約30%が利用している。
5 計画内容	実施園を順次拡大し、提供体制を確保していく。

6 計画値と実績値

(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	2,510	2,496	2,474	2,442	2,417
	確保の内容		3,220	3,232	3,272	3,317	3,362
	過不足		39園	39園	42園	42園	42園
実績	利用児童数	2,406	2,688				
	7時～18時 利用者	/	1,026				
	7時～19時 利用者	2,399	1,653				
	7時～22時 利用者	7	9				
	実施施設数	36園	39園				
	自己評価	/	A				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・利用者が見込み量をこえたものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・平成27年度から六名南保育園、大門保育園、六ツ美北保育園で7時～19時の保育を新たに実施しました。
- ・平成28年度には藤川保育園、緑丘保育園での事業を開始し、高まる保育ニーズに対応していきます。

区域別 時間外保育利用状況

単位(人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	
中央 区域	計画	量の見込み		733	735	728	719	715
		確保の内容		1,145 14園	1,145 14園	1,175 16園	1,205 16園	1,235 16園
		過不足		412	410	447	486	520
	実績	利用者数	852	937				
		実施施設数	13 園	14 園				
岡崎 区域	計画	量の見込み		433	432	425	415	404
		確保の内容		360 4園	360 4園	360 4園	360 4園	360 4園
		過不足		-73	-72	-65	-55	-44
	実績	利用者数	347	407				
		実施施設数	4 園	4 園				
大平 区域	計画	量の見込み		188	186	185	184	185
		確保の内容		330 4園	330 4園	330 4園	330 4園	330 4園
		過不足		142	144	145	146	145
	実績	利用者数	192	210				
		実施施設数	4 園	4 園				
東部 区域	計画	量の見込み		109	105	104	100	98
		確保の内容		140 2園	140 2園	140 2園	140 2園	140 2園
		過不足		31	35	36	40	42
	実績	利用者数	87	103				
		実施施設数	2 園	2 園				
岩津 区域	計画	量の見込み		344	343	344	340	339
		確保の内容		455 5園	462 5園	462 5園	462 5園	462 5園
		過不足		111	119	118	122	123
	実績	利用者数	326	361				
		実施施設数	4 園	5 園				
矢作 区域	計画	量の見込み		394	385	380	377	374
		確保の内容		355 4園	360 4園	370 5園	385 5園	400 5園
		過不足		-39	-25	-10	8	26
	実績	利用者数	355	372				
		実施施設数	4 園	4 園				
六ツ美 区域	計画	量の見込み		274	276	274	273	270
		確保の内容		360 4園	360 4園	360 4園	360 4園	360 4園
		過不足		86	84	86	87	90
	実績	利用者数	213	256				
		実施施設数	3 園	4 園				
額田 区域	計画	量の見込み		35	34	34	34	32
		確保の内容		75 2園	75 2園	75 2園	75 2園	75 2園
		過不足		40	41	41	41	43
	実績	利用者数	34	42				
		実施施設数	2 園	2 園				

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課	保育課
-----	-----

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(2)一時預かり事業
3 事業内容	<p>【幼稚園】 在園児を教育時間後や長期休業中に保護者の希望に応じて預かる事業 私立幼稚園のうち15園で実施</p> <p>【保育園】 保護者の就労、疾病、出産又は育児疲れの解消などのため一時的に保育を実施する事業 市内17園で実施</p>
4 計画策定時の現況	保育園の利用実績は年々増加傾向にあり、平成25年度は、対平成21年度比で40%増となっている。 中央、岩津、矢作区域で利用が多くなっている。
5 計画内容	<p>【幼稚園】在園児を対象としたサービスであることから、各幼稚園で今後の量の見込みを確保できる予定</p> <p>【保育園】平成27年度に実施園を1園増やし、18園で提供体制を確保する。</p>

6 計画値と実績値

(単位:人日)

幼稚園での一時預かり

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	183,762	183,431	181,704	178,658	176,883
	確保の内容		15園	15園	18園	18園	18園
実績	実施施設数	15園	15園				
	自己評価	/	A				

保育園での一時預かり

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み(必要利用定員総数)	/	5,908	5,849	5,802	5,751	5,689
	確保の内容		18,720	18,720	18,720	18,720	18,720
	過不足		18園	18園	18園	18園	18園
実績	保育園・認定こども園 児童数	5,959	5,554				
	実施施設数	17園	18園				
	自己評価	/	A				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・平成27年度から大門保育園での事業を新たに開始しました。
- ・平成28年度には六ツ美中保育園でも事業を開始し、提供体制の充実を図っていきます。
- ・平成29年度では公立幼稚園3園が幼保連携型認定こども園に移行するにあたり、新たに事業を開始していきます。

区域別 保育園における一時預かり 利用状況

単位(人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31	
中央 区域	計画	量の見込み		1,717	1,707	1,697	1,693	1,682
		確保の内容		4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園
		過不足		2,443	2,453	2,463	2,467	2,478
	実績	利用者数	1,817	1,144				
		実施施設数	4園	4園				
岡崎 区域	計画	量の見込み		1,039	996	983	968	952
		確保の内容		2,080 3園	2,080 3園	2,080 3園	2,080 3園	2,080 3園
		過不足		1,041	1,084	1,097	1,112	1,128
	実績	利用者数	678	682				
		実施施設数	2園	2園				
大平 区域	計画	量の見込み		427	437	433	429	424
		確保の内容		1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園
		過不足		613	603	607	611	616
	実績	利用者数	354	345				
		実施施設数	1園	1園				
東部 区域	計画	量の見込み		218	218	213	208	202
		確保の内容		1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園
		過不足		822	822	827	832	838
	実績	利用者数	355	114				
		実施施設数	1園	1園				
岩津 区域	計画	量の見込み		793	793	791	789	785
		確保の内容		4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園	4,160 4園
		過不足		3,367	3,367	3,369	3,371	3,375
	実績	利用者数	1,003	1,174				
		実施施設数	3園	4園				
矢作 区域	計画	量の見込み		986	982	971	961	950
		確保の内容		2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園	2,080 2園
		過不足		1,094	1,098	1,109	1,119	1,130
	実績	利用者数	1,278	1,496				
		実施施設数	2園	2園				
六ツ美 区域	計画	量の見込み		674	667	663	657	649
		確保の内容		3,120 3園	3,120 3園	3,120 3園	3,120 3園	3,120 3園
		過不足		2,446	2,453	2,457	2,463	2,471
	実績	利用者数	428	519				
		実施施設数	3園	3園				
額田 区域	計画	量の見込み		54	49	47	46	45
		確保の内容		1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園	1,040 1園
		過不足		986	991	993	994	995
	実績	利用者数	46	80				
		実施施設数	1園	1園				

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課	保育課
-----	-----

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(3)地域子育て支援拠点事業
3 事業内容	就園前の子どもを持つ子育て家庭の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供する事業 <実施場所> 総合子育て支援センター 地区子育て支援センター 5箇所 つどいの広場(岡崎げんき館・各地域交流センター) 5箇所(H26)⇒6箇所(H27)
4 計画策定時の現況	「つどいの広場」の施設整備に伴い、利用実績は年々増加傾向にある。
5 計画内容	平成27年度に地域交流センター六ツ美分館につどいの広場を開設し、計12施設で提供体制を確保する。

6 計画値と実績値

(単位:人日)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み(年間値)	/	208,044	205,992	204,312	202,536	200,388
	確保の内容(年間値)		208,044	205,992	204,312	202,536	200,388
			12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
実 績	利用者数	164,063	178,095				
	総合子育て支援センター	25,655	28,144				
	地区子育て支援センター	2,378	3,378				
	つどいの広場	136,030	146,573				
	実施施設数	11箇所	12箇所				
	自己評価	/	A				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・平成27年度から地域交流センター六ツ美分館につどいの広場を新たに開設しました。
- ・平成28年度においても身近な地域での子育て支援を図っていきます。

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

		担当課	保育課・健康増進課			
1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業					
2 事業名	(4)利用者支援事業					
3 事業内容	子育て中の親子の身近な場所において、利用者支援専門員を配置し、教育・保育・保健や地域の子育て支援事業などの情報提供や、相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業 【基本型】 :教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう身近な場所で寄り添い型の支援を行うもの 【母子保健型】 :妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、助産師、保健師等が専門的な見地から相談支援を実施するもの					
4 計画策定時の現況	未実施					
5 計画内容	平成28年度から総合子育て支援センターで基本型を、保健所で母子保健型を実施 ※母子保健型については、H28.1.29付けで計画に新たに位置づけた。					
6 計画値と実績値						
(単位:箇所)						
基本型		H27	H28	H29	H30	H31
計画値	実施施設数	0	1	1	1	1
実績	実施施設数	0				
	自己評価	A				
母子保健型		H27	H28	H29	H30	H31
計画値	実施施設数	0	1	1	1	1
実績	実施施設数	0				
	自己評価	A				
※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞						
7 評価と今後の方向性						
【基本型】 ・平成27年度は保育士1名が利用者支援事業専門員研修を受講するなど、平成28年度からの事業実施に向けた準備を行いました。 【母子保健型】 ・平成28年度からの事業実施に向けて準備を行いました。						

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 保育課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(5)病児・病後児保育事業
3 事業内容	症状の急変は認められないものの、病気の回復期に至っていない子ども、あるいは、病気の回復期にあり、まだ集団保育等が困難な子どもを一時的に預かる事業 八帖保育園、岡崎げんき館の2箇所で開催(病後児保育のみ)
4 計画策定時の現況	利用実績は年度によりばらつきがある。
5 計画内容	・病後児保育は、現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定 ・病児保育については、医療機関併設型の病児保育施設の設置について検討を進める。

6 計画値と実績値

(単位:人日)

病後児保育		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	299	297	294	291	288
	確保の内容		2,080	2,080	2,080	2,080	2,080
			2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
実績	利用児童	8	16				
	実施施設数	2箇所	2箇所				
	自己評価		B				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・平成27年度から病後児保育について、保育園の入園案内等にお知らせを掲載し周知を図っています。
- ・病児保育については、引き続き関係団体と協議を続けていきます。

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 こども育成課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(6)放課後児童健全育成事業
3 事業内容	保護者が就労等により昼間、家庭にいない小学生を対象に、遊びと生活の場を与える放課後の居場所を提供し、児童の健全育成を図る事業 実施施設 児童育成センター 34箇所 民間児童クラブ 9箇所
4 計画策定時の現況	法改正により4年生以上の高学年も利用対象に明確に位置づけられたことや女性の就労状態の変化、子どもを取り巻く社会環境の安全面への不安などから、今後の利用の増加が見込まれる。
5 計画内容	待機児童が多く生じると予想される学区や老朽化した施設を活用しているクラブのある学区など、合計17クラブの整備を予定 施設の不足する学区においては、暫定的に1つのクラブを2グループの支援の単位に分割するなどし、安全を確保できる範囲で定員増を図る。

6 計画値と実績値

(単位:人)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	2,441	2,460	2,482	2,491	2,502
	低学年		2,055	2,057	2,075	2,094	2,098
	高学年		386	403	407	397	404
	確保の内容(予定利用者数合計)		2,035	2,165	2,274	2,382	2,407
	放課後子ども教室対応		43箇所	47箇所	52箇所	57箇所	59箇所
	過不足		41	44	67	66	95
			-365	-251	-141	-43	0
実績	放課後児童クラブ 利用児童数	2,091	2,213				
	低学年	1,880	1,905				
	高学年	211	308				
	待機児童数	91	183				
	低学年	91	131				
	高学年	0	52				
	実施施設数	43箇所	43箇所				
自己評価	/	B					

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞
※各年度5月1日現在

7 評価と今後の方向性

- ・利用希望者が近年著しく増えており、事業供給量が不足している状態です。
- ・井田、大樹寺、六ツ美西部学区にそれぞれクラブを設置し、平成28年度からは受入定員を150名増やします。
- ・竜美丘学区については開設場所の調整のため次年度以降に繰越。平成27年度においては、こどもの家の造形図書室を拡張し、放課後の居場所の拡大を図りました。
- ・豊富学区については、こどもの家との複合施設として平成28年度に整備します。
- ・クラブの設置を進めるため、市長と教育委員会の間で教室利用についての確認書を取り交わし、また放課後子ども総合プラン運営委員会を立ち上げ、子どもたちの放課後のあり方について検討を行いました。
- ・今後も計画をもとに、実際の地域ニーズを踏まえながら必要な整備を行い、提供体制の拡充を図ります。

学区別の利用状況(クラブ利用者のいる学区のみ)

		利用者						待機児童数					
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31
梅園	低	65	65					2	0				
	高	0	1					0	0				
	計	65	66					2	0				
根石	低	38	41					0	0				
	高	17	18					0	0				
	計	55	59					0	0				
男川	低	65	63					9	14				
	高	0	2					0	9				
	計	65	65					9	23				
美合	低	43	38					0	0				
	高	12	15					0	0				
	計	55	53					0	0				
緑丘	低	57	60					0	4				
	高	1	7					0	0				
	計	58	67					0	4				
羽根	低	63	72					0	8				
	高	13	7					0	4				
	計	76	79					0	12				
岡崎	低	77	67					3	21				
	高	4	14					0	7				
	計	81	81					3	28				
六名	低	79	86					0	0				
	高	6	10					0	0				
	計	85	96					0	0				
三島	低	53	47					0	0				
	高	4	8					0	0				
	計	57	55					0	0				
竜美丘	低	65	66					20	20				
	高	0	0					0	4				
	計	65	66					20	24				
連尺	低	55	63					0	4				
	高	11	4					0	1				
	計	66	67					0	5				
広幡	低	61	59					0	15				
	高	18	13					0	9				
	計	79	72					0	24				
井田	低	130	122					26	15				
	高	0	8					0	12				
	計	130	130					26	27				
愛宕	低	13	17					0	0				
	高	4	7					0	0				
	計	17	24					0	0				
福岡	低	68	73					0	0				
	高	31	34					0	0				
	計	99	107					0	0				
竜谷	低	0	1					0	0				
	高	0	0					0	0				
	計	0	1					0	0				
藤川	低	21	26					0	0				
	高	6	9					0	0				
	計	27	35					0	0				
山中	低	30	35					0	0				
	高	1	2					0	0				
	計	31	37					0	0				

		利用者						待機児童数					
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31
本宿	低	39	37					0	0				
	高	1	3					0	0				
	計	40	40					0	0				
細川	低	63	61					0	2				
	高	1	5					0	1				
	計	64	66					0	3				
岩津	低	57	61					0	2				
	高	1	3					0	0				
	計	58	64					0	2				
大樹寺	低	31	28					0	0				
	高	5	9					0	0				
	計	36	37					0	0				
大門	低	52	60					0	0				
	高	0	6					0	0				
	計	52	66					0	0				
矢作東	低	50	60					0	0				
	高	29	25					0	0				
	計	79	85					0	0				
矢作北	低	65	62					0	6				
	高	1	7					0	0				
	計	66	69					0	6				
矢作西	低	33	33					0	0				
	高	3	4					0	0				
	計	36	37					0	0				
矢作南	低	79	80					7	9				
	高	5	6					0	1				
	計	84	86					7	10				
六美中	低	12	17					0	0				
	高	5	5					0	0				
	計	17	22					0	0				
六美北	低	64	60					6	9				
	高	0	5					0	4				
	計	64	65					6	13				
六美南	低	65	53					1	0				
	高	0	11					0	0				
	計	65	64					1	0				
城南	低	31	27					0	0				
	高	0	0					0	0				
	計	31	27					0	0				
上地	低	76	84					0	0				
	高	12	20					0	0				
	計	88	104					0	0				
小豆坂	低	43	56					0	0				
	高	9	13					0	0				
	計	52	69					0	0				
北野	低	51	44					0	0				
	高	9	15					0	0				
	計	60	59					0	0				
六美西	低	65	60					17	2				
	高	0	5					0	0				
	計	65	65					17	2				
豊富	低	21	21					0	0				
	高	2	7					0	0				
	計	23	28					0	0				
計	低	1,880	1,905					91	131				
	高	211	308					0	52				
	計	2,091	2,213					91	183				

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 保育課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(7)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)
3 事業内容	育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人を会員として登録し、相互援助活動の紹介を行う事業 総合子育て支援センターで実施 ⇒ 家庭児童課で実施(H28～)
4 計画策定時の現況	利用状況は依頼会員、援助会員ともに増加傾向にあり、利用実績も増えている。 就学前児童の利用に関しては、5年間で約2倍に増加している。 小学生の利用に関しては、放課後児童健全育成事業などの広がりもあり、「帰宅後の預かり」が減少し、送迎のニーズが増えている傾向
5 計画内容	援助会員のさらなる増加に努め、増大するニーズに対応できる提供体制を維持します。

6 計画値と実績値

(単位:人)

就学前児童

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み	/	8,580	8,551	8,504	8,444	8,383
	就学前児童		6,450	6,407	6,353	6,270	6,208
	小学生		2,130	2,144	2,151	2,174	2,175
実 績	利用実績	4,613	4,776				
	就学前児童	3,335	3,313				
	小学生	1,278	1,463				
	自己評価		A				

会員数

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
依頼会員		1,018	1,089				
援助会員		252	250				
	援助会員	152	166				
	両会員	100	84				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

- ・利用人数は年度により異なるものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。
- ・仕事等と育児を両立できる環境整備、地域の子育て支援のため事業を実施していきます。

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 家庭児童課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(8)子育て短期支援事業(ショートステイ)
3 事業内容	保護者が病気や出産、看護などで養育が一時的に困難になった場合に、1週間以内を原則として児童養護施設等で宿泊をとまう一時預かりを行う事業 施設数 5箇所(市内3箇所、市外2箇所)
4 計画策定時の現況	利用日数及び利用者数は、年度によって異なっている。 臨時的需要の事業であるものの、一定の利用ニーズがある。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定。

6 計画値と実績値

(単位:人日)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画	量の見込み	/	91	91	91	91	90
	確保の内容		5施設	5施設	5施設	5施設	5施設
実績	利用実績	57	51				
	契約施設数	5施設	5施設				
	自己評価	/	A				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

・利用日数は年度により異なるものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。
 ・支援が必要な家庭がサービス提供を受けられるよう、引き続き事業周知に努めるとともに、様々な家庭のニーズにも柔軟に対応できるよう受け入れ施設との連携を図り事業を進めていきます。

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 家庭児童課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(9)乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)
3 事業内容	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供、親子の心身の状況や養育環境などの把握・助言を行う事業 こんにちは赤ちゃん訪問員(保育士)6人で実施
4 計画策定時の現況	訪問率は平成24年度以降、98%以上で推移している。また、未訪問家庭の追跡調査や他事業との連携(3歳児健診未受診・未就園児童を対象とする家庭訪問・保育園巡回)により、子どもの養育状況の把握に努めている。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定

6 計画値と実績値

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み (訪問員による訪問対象乳児数)	/	3,238	3,213	3,194	3,153	3,111
	訪問対象乳児数	3,157	3,302				
実 績	訪問実施数	3,107	3,263				
	訪問率	98.4%	98.8%				
	自己評価	/	A				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

乳児の健全な育成環境の確保に貢献でき、高い訪問率を達成してきました。
しかし、事業の実施年経過につれ、二子目との理由で訪問拒否など受入れの低下が予想されるため、今後も訪問拒否家庭等に対し丁寧に事業の目的を説明し、協力が得られるように努めていきます。

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 家庭児童課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(10)養育支援訪問事業
3 事業内容	乳児家庭全戸訪問事業や母子保健事業、関係機関からの連絡等により、養育支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師等がその居宅を訪問し、養育に関する相談・指導、助言や家事援助等を行う事業
4 計画策定時の現況	専門職による訪問が必要な世帯は増加傾向にあるものの、受け入れが難しい世帯が多くなっている。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定

6 計画値と実績値

専門職訪問(養育相談等)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み	対象世帯数	/	16	16	16	16
		延べ回数	/	98	98	98	98
実 績	対象世帯数		25	27			
	延べ回数		185	215			
	自己評価		/	A			

ヘルパー派遣(家事援助等)

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み	対象世帯数	/	7	7	7	7
		延べ回数	/	125	125	125	124
実 績	対象世帯数		5	12			
	延べ回数		30	130			
	自己評価		/	A			

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

・対象世帯数、延べ回数とも見込み量を超えたものの、計画どおり提供体制を確保できている状況です。
 ・養育支援が必要な家庭は多くありながら関わりを持つことが難しいのが現状ではあるが、児童虐待の早期発見・早期対応や発生予防には重要な事業であり、様々な方法を駆使して関係づくりを試みながら、事業を進めていきます。

子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表(H27年度)

担当課 健康増進課

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業
2 事業名	(11)妊婦に対する健康診査
3 事業内容	妊娠中の異常を早期に発見し適正医療につなげるとともに、保健指導の実施により、安全・安心な出産と健全な育児に臨めるよう、必要な回数の健康診査の受診を促し、公費負担を行う事業 県内協力医療機関等への委託契約(県外受診は償還払)により実施
4 計画策定時の現況	母子保健対策として早期の妊娠届出を重視しており、妊娠11週までの届出実績は平成18年度の64.8%から平成25年度には94%に増加している。
5 計画内容	現行の提供体制により、今後の量の見込みを確保できる予定

6 計画値と実績値

		H26	H27	H28	H29	H30	H31
計 画	量の見込み(健診回数)	/	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000
	対象人数	/	3,950	3,950	3,950	3,950	3,950
	受診票(回)	/	14	14	14	14	14
	受診票使用率	/	88%	88%	88%	88%	88%
実 績	妊娠届出件数	3,900	3,849				
	延べ受診者数	46,802	48,223				
	自己評価	/	A				

※評価:A-計画どおり、B-計画どおり進んでいない、C-計画が停滞

7 評価と今後の方向性

平成27年3月31日厚生労働省告示の「妊娠に対する健康診査についての望ましい基準」に準じて妊婦健康診査の実施ができています。
現行体制を維持できるようにしていきます。

事業計画の変更について

1 あらまし

岡崎市では、子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保と、業務の円滑な実施を目的に「おかざきっ子 育ちプラン（岡崎市子ども・子育て支援事業計画）」を策定しました。

子ども・子育て支援新制度においては、市町村が主体となり、計画に沿って事業を進め、国や県はそれを技術的・財政的に支援することとされています。そのため市町村が計画にない新たな事業を進めたい場合などにおいては、安定的に支援を受けるためにも、計画を変更することが必要となります。

この度、次の点について計画を変更したいため、子ども・子育て支援法の規定により、委員の皆様の意見を伺うものです。



2 変更内容

(1) 変更箇所

利用者支援事業（計画書 P47）基本型について、平成 29 年度以降の実施箇所数を増やす。

（現状）1 箇所 ⇒ （変更後）6 箇所

(2) 変更理由

平成 28 年度から地区子育て支援センターの開設時間や事業内容の拡充を進めたところ、利用者数が伸びており、身近な地域での支援に一定のニーズがある。

⇒ 地区子育て支援センター（市内 5 箇所）にも利用者支援事業専門員（保育コンシェルジュ）を配置し、利用者支援事業を実施することにより、より身近な地域での支援の拡充を図る。

(3) 人員の確保

平成 28 年度に利用者支援事業専門員研修を実施し、事業従事者の養成を進める。



地区子育て支援センター
（六ツ美中保育園）

平成27-28年度 総合子育て支援センター 相談項目別 年間比較

項目	H27.4	H28.4	H27.5	H28.5	H27.6	H28.6	H27.7	H28.7	H27.8	H28.8	H27.9	H28.9	H27.10	H28.10	H27.11	H28.11	H27.12	H28.12	H28.1	H29.1	H28.2	H29.2	H28.3	H29.3
①基本的 生活習慣	14	15	33	42	42	73	43	37	28	58	24		23		15		23		21		15		22	
②発育・発 達	12	17	27	32	30	63	36	51	20	57	22		24		17		19		22		26		20	
③育児方 法	6	5	13	13	18	13	8	6	10	17	10		13		9		8		8		7		7	
④病気等	1	5	0	4	5	8	3	4	6	2	8		6		0		2		7		2		2	
⑤生活環 境	1	3	6	2	3	3	8	5	2	3	1		0		3		0		1		3		0	
⑥情報提 供	9	41	41	75	47	120	30	108	21	117	46		28		18		13		16		20		17	
⑦親支援	4	7	18	10	8	27	11	25	7	13	12		12		17		4		8		12		9	
⑧発達就 園支援	12	10	3	16	14	25	8	27	17	20	39		42		42		13		11		14		17	
合計	130	103	141	194	167	332	147	263	111	287	162		148		121		82		94		99		94	

平成27-28年度 地区子育て支援センター 利用人数 年間比較

	H27.4	H28.4	H27.5	H28.5	H27.6	H28.6	H27.7	H28.7	H27.8	H28.8	H27.9	H28.9	H27.10	H28.10	H27.11	H28.11	H27.12	H28.12	H28.1	H29.1	H28.2	H29.2	H28.3	H29.3
六ツ美中	—	64	—	236	—	377	—	588	—	562	—		—		—		—		—		—		—	
島坂	32	63	102	159	155	378	47	439	65	423	98		93		108		94		31		101		21	
豊富第二	7	23	14	51	42	90	28	56	8	52	49		20		28		9		17		28		2	
藤川	27	99	55	230	98	356	35	342	24	328	58		83		73		65		54		50		40	
岩松	8	33	25	91	52	165	28	163	15	175	17		58		30		29		53		13		22	

*H28年度より福岡保育園→六ツ美中保育園に変更

*H28年度より各地区子育て支援センターに専任保育士を配置、実施日時を週2日、9時30分から11時30分→週3日、9時30分から14時30分に拡充

(4) 利用者支援事業

事業概要

子育て中の親子の身近な場所において、利用者支援専門職員を配置し、教育・保育・保健や地域の子育て支援事業などの情報提供や、必要に応じ相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

▶ 提供区域

市全域

①全市の量の見込みと確保の内容

■基本型

単位(箇所)

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	0	1	<u>6</u>	<u>6</u>	<u>6</u>
②確保の内容	0	1	<u>6</u>	<u>6</u>	<u>6</u>
②-①	0	0	0	0	0

※基本型は、子どもとその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所で当事者目線の寄り添い型の支援を行う事業です。

■母子保健型

単位(箇所)

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	0	1	1	1	1
②確保の内容	0	1	1	1	1
②-①	0	0	0	0	0

※母子保健型は、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健所等において、助産師、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行う事業です。

提 供 体 制 の 考 え 方

- 基本型については、平成28年度から総合子育て支援センターで実施を予定しています。利用者支援専門職員を中心に情報集約を行いながら、保育園、認定こども園等の利用調整を行う担当職員と連携し、家庭の希望や状況に応じた的確な情報提供やきめ細かな相談対応の充実を図ります。
以降、利用状況、施設環境などを勘案して、より身近な場所で相談支援を行えるよう、地域子育て支援拠点に事業を拡大していきます。
- 母子保健型については、平成28年度から保健所で実施を予定しています。助産師、保健師等、母子保健事業に関する専門知識をもつ専任のコーディネーターを配置し、相談体制の充実を図ります。また、支援を必要とする妊産婦に包括的な支援を行うことができるよう、母子保健や子育て支援を行う関係機関とのネットワークの整備を進めます。